

裏磐梯ビジターセンター第9回学生研究発表会

自然地域をフィールドに、調査・研究をしている学生たちが、その成果を地域に還元する機会「裏磐梯ビジターセンター学生研究発表会」が2014年3月16日に裏磐梯ビジターセンターで開催されました。今年は口頭発表に加えて、ポスター発表もあり、磐梯朝日遷移プロジェクトからは柴崎研，高貝研，黒沢研，塘研から10名の学生が研究成果を発表しました。福島大学のほか、口頭発表では山形大学（朝日連峰におけるマツノクロホシハバチによるハイマツの食害調査），文教大学・立教大学（共同研究：北塩原村における観光の風評被害克服に向けた研究），ポスター発表では立正大学（福島県御霊櫃峠における植被階状礫縞の形成過程に関する仮説）の学生による発表もありました。

【口頭発表】



「五色沼湖沼群とその他の湖沼におけるナノメートルオーダーの微粒子の計測と光散乱（青色の要因）に対する考察」阿部遼太（高貝研B4）



「シロヤナギ・ハンノキ林や湿地の広がる休暇村裏磐梯の植物相」桑島和斗（黒沢研B4）



「福島県裏磐梯地域における地表徘徊性甲虫相（昆虫綱：甲虫目）」緒勝祐太郎（塘研B4）



「福島県裏磐梯地域の池沼に生息するヒメシロカゲロウ科の未記載種の生態」増淵翔太（塘研M1）

昨年度に引き続き、調査道具や得られたサンプルの紹介などもさせて頂きました。裏磐梯で活動されている方々や自然に興味をお持ちの方々との意見交換ができる有意義な発表会となりました。開催準備から当日の運営まで、裏磐梯ビジターセンターのスタッフの方々には大変お世話になりました。この場を借りて感謝申し上げます。

【ポスター発表】



「福島県裏磐梯地域におけるオオシマトビケラの生活史(昆虫綱:トビケラ目)」大平 創(塘研M2)



「福島県と長野県の山岳域に生息するアザミウマ亜科の未記載種の遺伝的多様性(アザミウマ目:アザミウマ科)」木目澤友梨恵(塘研B4)

写真で紹介した発表以外に以下の学生による発表がありました。学生の皆さんお疲れ様でした。参加者にも大変好評でした。来年度も頑張りましょう。

「猪苗代平野における地下水流動の予察的シミュレーション解析」佐藤真一(柴崎研D2)

「喜多方市街地における地下水流動および地下水音分布の解析」金子翔平(柴崎研B4)

「ひめさゆりの丘の適切な管理方法は？～植物相と昆虫による食害から探る～」猪瀬礼璃菜(黒沢研B4)

「DNAから探る葉を捨てたイチヤクソウの正体」首藤光太郎(黒沢研M2)



展示スペースの一角に設けられたポスター会場は大盛況でした。



最後に発表者全員がスクリーン前に集合。会場からは暖かい拍手が送られました。